



KBF 関甲新学生野球
2023 オータムカップ



ラン

稲葉
延長10回タイブレーク撃沈!!!
現社2年

平成国際大学戦
5-6



	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E
常磐B	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	5	11	3
平国大	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1x	6	8	0

関甲新学生野球・オータムカップ第3戦、常磐大学Bは、グループ1位の平成国際大学と対戦し、延長10回の末、5-6で敗北した。
【11/12 笠間市民球場】1回、先発は1年生 new face 川井康晟（現社1）の立ち上がりは、連続四球から走者をため、4番のセカンドゴロをセカンド菊池望夢（現社2）が後逸、その後セカンドのタッチアップ、レフト前で痛い3点を失う。その後ゲームが動いたのは3回、2死から、1番矢部真至（現社1）の安打、2番菊池の四球、3番大塚大（現社2）の左中間への2塁打で2点を返す。
その後6回、4番長山大輝（現社2）が2塁打で出塁すると、2死の後、今大会不調の7番稲葉悠太（現社2）が復調の2ラン本塁打で逆転に成功する。その後2回以降、先発川井は死力のピッチングで7回まで3失点に抑える。

8回、先頭の代打に安打を許し、5番の打球はライト線の際どい判定もフェア。1死 2,3 塁のピンチを背負い、7番に初球を完璧に捉えられ2点を失い逆転を許した。その後の9回、追い込まれた常磐大は、1死から四球、犠打で2死2塁を作り、この日2打点の3番大塚が起死回生の同点2塁打。土壇場で追いつく。その後タイブレークで先攻常磐は0点、追い込まれた状況でピッチャーは、9回からの中島祥生（現社1）が続投、最後には相手主将にライト前を浴びサヨナラ負け。死闘を繰り広げたが、惜しくも敗戦した。バッテリーは、川井、中島 - 長山。（文・小関貴太）

星取表 (2023年11月12日現在)

		常磐B	平国大	上武E	白鷲B	埼玉大	試合	勝	負	勝率
2	常磐大B		★		☆	☆	3	2	1	.667
1	平成国際大	☆		☆	★	☆	4	3	1	.750
2	上武大E		★		☆	☆	3	2	1	.667
4	白鷲大B	★	☆	★		☆	4	2	2	.500
5	埼玉大	★	★	★	★		4	4		.000

予告

最終戦!!

対・上武大学E戦

作新学院大学野球場

11/18 10:00

対・作新学院大学戦

作新学院大学野球場

11/18 13:00